

(ご参考①) 平成21年度実績の概要と平成22年度の経営方針

平成21年度 実績の概要：

「基本原則に則った業務運営の徹底により、守りを固めつつ、着実な成長を目指す」

「経費」「クレジットコスト」「リスクアセット」の3つのコントロールを意識した業務運営により、着実な業績回復を実現。また、国際的な自己資本規制のフレームワークが明らかとなるなか、新たな規制・競争環境下においても持続的成長を実現できる体制を構築するために、強靱な資本基盤の構築に向けて普通株増資等の施策を実施したほか、日興コーディアル証券をSMBCの完全子会社とするなど、着実な成長を実現する事業ポートフォリオの構築を推進。

「経費」「クレジットコスト」「リスクアセット」のコントロール

(SMBC単体)

<経費> 経費率は40%台を維持
 <クレジットコスト> 取引先の状況に応じたきめ細かな対応等により、前年比、11月予想比ともに大幅な削減

(SMFG連結)

<当期純利益> SMBCの増益を主因に、前年比、11月予想比ともに増益を確保

グローバルプレーヤーに相応しい財務体質の実現

- ・累計で発行価額総額1.8兆円の普通株増資を実施
- ・資本性証券の買戻し(総額約2,900億円)／転換型優先株式の普通株式転換

成長事業領域の強化

- ・SMBCが日興コーディアル証券を完全子会社化、総合証券会社として業務開始(21/10月)、等

	(億円)		
(SMBC単体)	21年度	前年比	11月予想比
業務粗利益	14,553	▲ 696	+ 103
経費	▲ 6,858	△ 157	△ 92
<経費率>	47.1%	+ 1.1%	△ 1.0%
業務純益*	7,695	▲ 539	+ 195
与信関係費用	▲ 2,547	△ 2,954	△ 853
当期純利益	3,180	+ 6,191	+ 1,180
(SMFG連結)			
当期純利益	2,716	+ 6,450	+ 516
(SMFG連結)	22/3月末	21/3月末比	
自己資本比率(速報値)	15.02%	+ 3.55%	* 一般貸倒引当金繰入前
Tier I比率(速報値)	11.15%	+ 2.93%	

平成22年度 経営方針：「変化の先を読み、新たな規制・競争環境においても着実な成長を実現するビジネスモデルへの転換を図る」「リスクリターン・コストリターンを重視し、アセットクオリティの改善と経費・クレジットコストのコントロールを徹底する」

海外・証券等の成長分野への資源投入により、収益力強化を図るとともに、円滑な資金供給を行いつつ、アセットの入れ替えによるリターンの改善とクレジットコストの抑制に注力し、「強靱な資本基盤の確保」と「着実な成長を実現する事業ポートフォリオの構築」を推進。

強靱な資本基盤の確保 ⇒ 連結Tier I比率10%程度以上を継続的に確保

- ・業務計画に則った着実な収益の計上
- ・保有株式にかかる株価変動リスクの削減
- ・NYSE上場に向けた取組み

着実な成長を実現する事業ポートフォリオの構築 ⇒ 中期的には連結ROE10%程度を目指す

- <既存ビジネスの見直しによるボトムライン収益の強化／業務プロセスの改善による生産性の更なる向上>
- ・円滑な資金供給を行いつつ、アセットの入れ替えによるリターンの改善／クレジットコスト・経費の抑制に注力
- <成長分野への重点的な取組みによるリターンの追求／アドバイザー機能の活用による顧客対応力の更なる強化>

法人向けソリューションビジネス/
投資銀行・信託業務

中小企業のお客さまの資金調達ニーズへの対応
 お客さまの経営課題に対して最適な解決策を提供

ホールセール/リテール証券業務

日興コーディアル証券との銀証融合ビジネスの推進
 →ホールセール証券業務機能の整備・早期収益化／リテール証券業務の持続的拡大

個人向け金融コンサルティングビジネス

商品ラインアップを一層拡充／コンサルタントのスキル向上

支払・決済・コンシューマファイナンス

セディナの連結子会社化によるクレジットカード事業の着実な推進
 カスケード事業運営の見直し、アットローンとプロミスの合併(23/4月予定)
 国際CMS(キャッシュマネジメントサービス)の推進

グローバルマーケットにおける特定分野

アジアを軸とした海外業務へのアセット投入と調達の多様化・安定化
 専門性の高いファイナンス業務の継続的強化・プロダクツ業務拡大
 内外一体となったお客さまのニーズ対応
 アジアの商業銀行との資本・業務提携推進